

# 京都市交通局・京阪電気鉄道

高2D 日向 洋

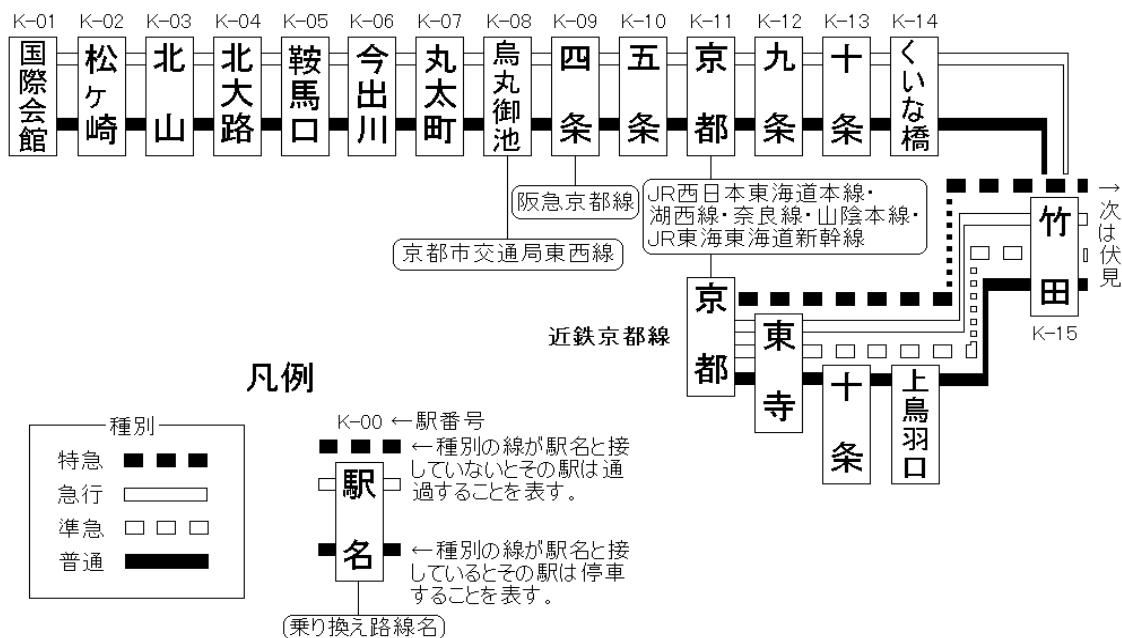
2008年1月16日、京都市交通局東西線が二条～太秦天神川（うずまさてんじんがわ）まで延伸された。  
また、2008年10月19日には京阪電気鉄道の中之島線が開業予定である。  
今回は京都市交通局・京阪電気鉄道についてまとめてみたいと思う。

## I. 概要・停車駅・路線案内

### ① 京都市交通局

京都市交通局は、烏丸（からすま）線（国際会館～竹田間）、東西線（六地蔵～太秦天神川間）の2路線からなる鉄道である。

#### i. 烏丸線

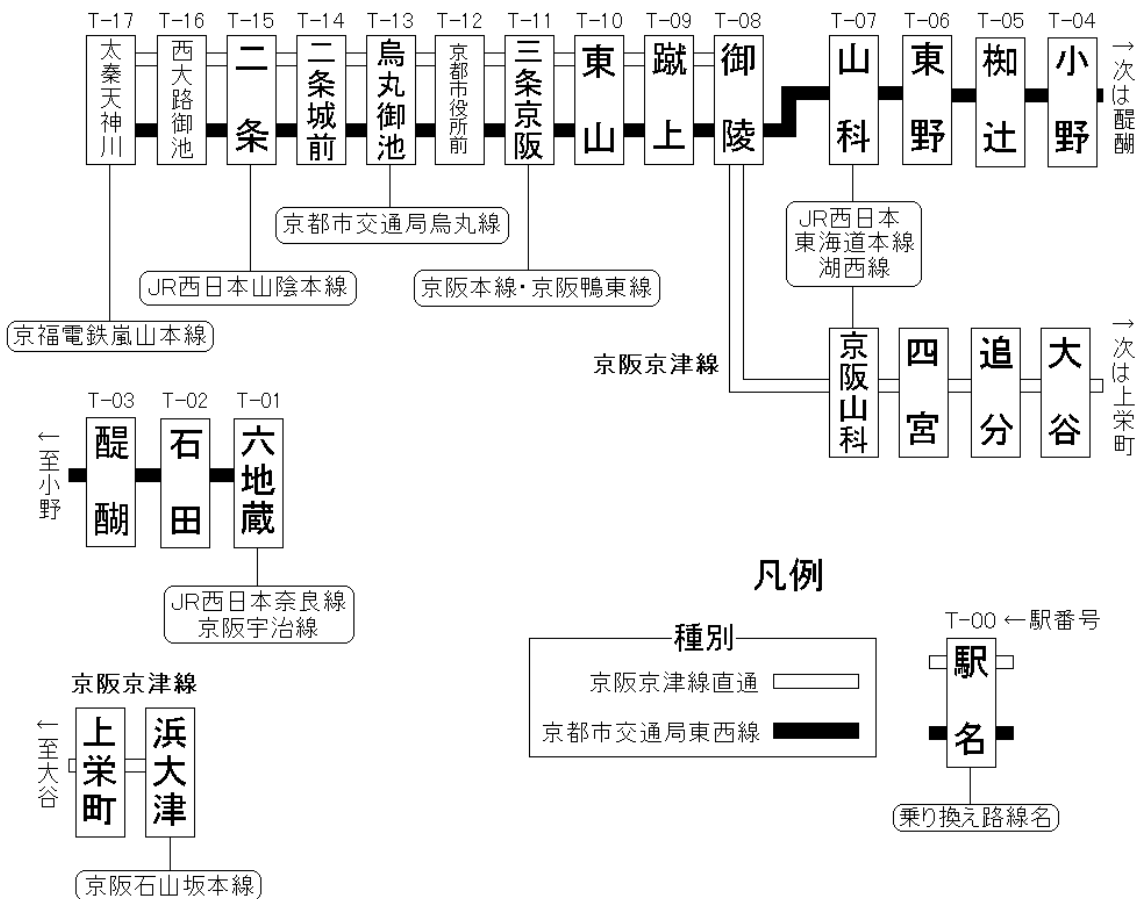


※1 京都市交通局烏丸線は、国際会館（K-01）～竹田（K-15）間。近鉄京都線・奈良線の新田辺・奈良方面まで直通運転をしている。

※2 地下鉄京都駅と近鉄京都駅については、路線図・駅の構内放送では乗り換え案内するが、車内放送ではされていない。

※3 京都市交通局烏丸線の四条駅・五条駅・丸太町駅と後述の京阪本線・鴨東線の四条駅・五条駅・丸太町駅、京都市交通局烏丸線の十条駅と近鉄京都線の十条駅は乗換駅ではない。

#### ii. 東西線・京阪電気鉄道京津線



※1 東西線は京阪電気鉄道京津線方面からの乗り入れのみ（京阪電気鉄道京津線の車両の乗り入れのみ）で、京都市交通局の車両は京阪京津線に乗り入れることはない。また、京阪電気鉄道京津線の車両が京都市役所前以西まで乗り入れるようになったのは2008年1月16日からのことである。

※2 地下鉄山科駅と京阪山科駅は近いため、乗り換えが可能であるが、案内はされていない。

※3 太秦天神川方面から乗車した場合、地下鉄山科駅までの料金と京阪山科駅までの料金は異なるため、注意が必要である。例えば、京都市役所前～京都市交通局山科までは250円であるが、京都市役所前～京阪山科まで乗車した場合は410円である。

また、太秦天神川方面から京阪京津線方面に京都市交通局発行の1日乗車券で乗車した場合は下車駅で御陵からの運賃を支払う必要がある。例えば、京都市役所前から京都市交通局発行の1日乗車券で乗車し、京阪山科で降車する場合、京阪山科で御陵～京阪山科間の料金（160円）を支払う。

※4 京福電気鉄道の嵐電天神川駅開業前（2008年1月16日～3月27日まで）、京都市交通局太秦天神川駅との乗換駅は蚕ノ社駅であった（その時も、乗り換え案内はされていた）。

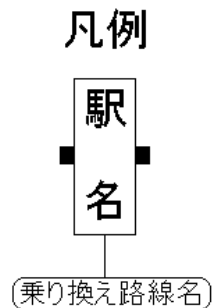
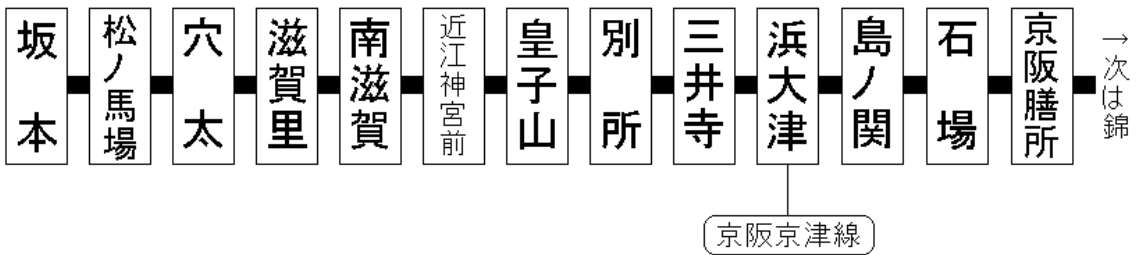
## ② 京阪電気鉄道

京阪電気鉄道（以下、京阪）とは京阪本線（淀屋橋～三条）、京阪鴨東（おうとう）線（三条～出町柳）、京阪交野（かたの）線（枚方市～私市）、京阪宇治線（中書島～宇治）、京阪京津（けいしん）線（御陵～浜大津）、京阪石山坂本線（石山寺～坂本）の6路線からなる大手私鉄である。

京阪京津線は先述のように京都市交通局東西線に乗り入れしている。かつて、京阪京津線は三条（京津三条）～浜大津まで（一部路面電車区間あり）であったが、1997年10月12日の京都市交通局東西線の開通で御陵～浜大津までとなった（その後、先述のように京都市交通局東西線に乗り入れを続けており、2008年1月16日に二条～太秦天神川間が延伸されてからは、それまでの京都市役所前どまりから一部運用を除き、太秦天神川まで直通している）。

※ なお、京津線の路線図は「① 京都市交通局」の「東西線・京阪電気鉄道京津線」の路線図参照。

### 京阪石山坂本線



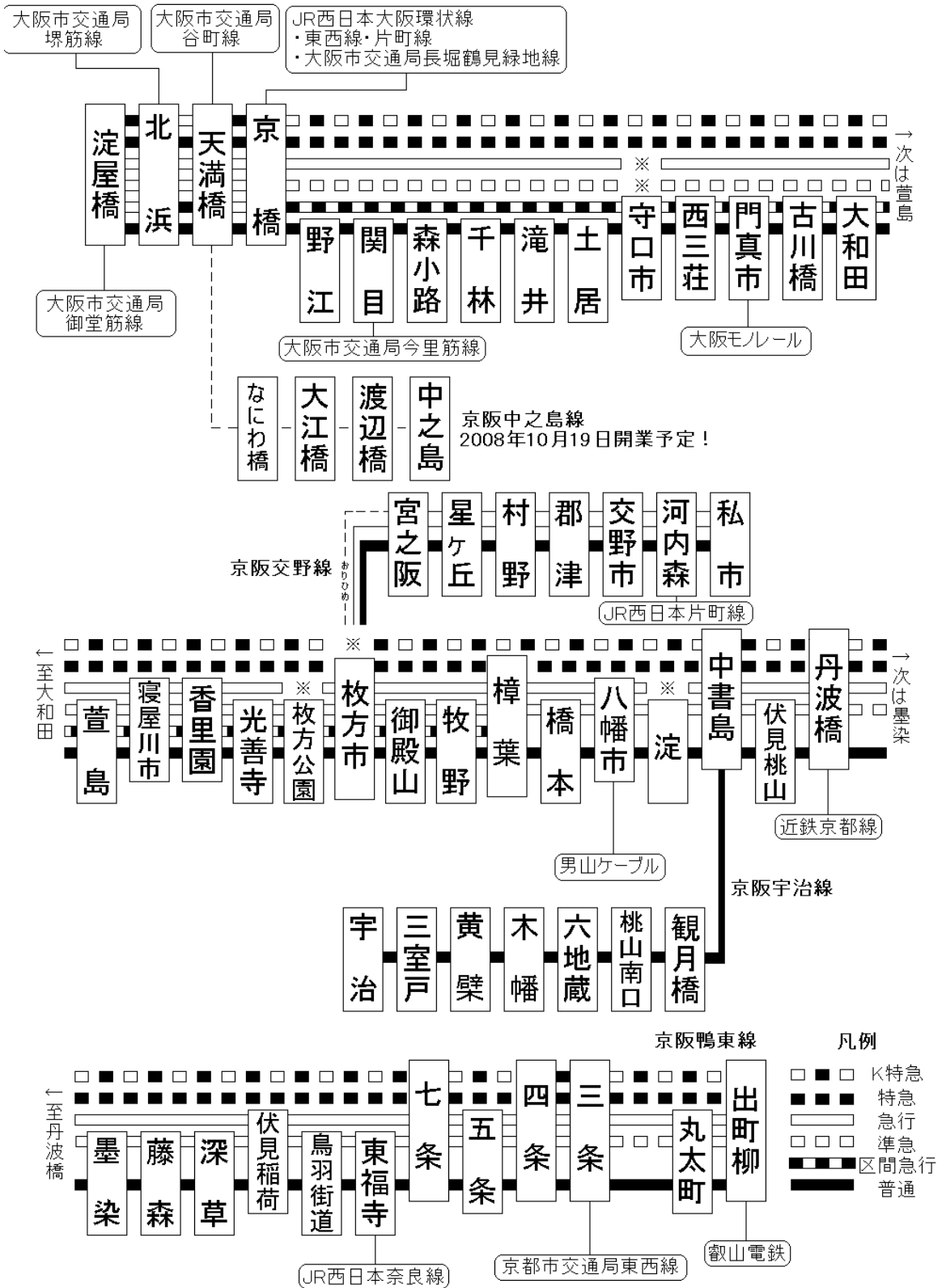
### 京阪本線・宇治線・交野線・中之島線

※K 特急・朝の淀屋橋行・「K 特急 おりひめ号」は枚方市に停車。

急行…早朝・朝ラッシュ時・深夜を除き、枚方公園・守口市に停車。また、淀行のみ淀に停車。

準急…早朝・朝ラッシュ時以外の列車と「準急 ひこぼし号」は守口市に停車。

「K 特急 おりひめ号」は—おりひめ—、「準急 ひこぼし号」は—— で表している（枚方市～私市間）。



## II. 種 別

### ① 京都市交通局

#### i. 烏丸線

烏丸線国際会館方面は「普通」のみである。なお、構内放送では「まもなく○番のりばに国際会館行がまいります」と種別を言わない形式である。

竹田・近鉄線方面は「普通」・「急行」があるが、全種別竹田まで各駅に停車する。

なお、構内放送で、竹田行は「まもなく○番のりばに竹田行がまいります」と種別は言わない形式、近鉄線直通列車の場合、「普通」ならば「まもなく○番のりばに各駅停車○○行がまいります」、「急行」ならば「まもなく○番のりばに急行○○行がまいります」という形式である。

#### ii. 東西線

東西線は京阪京津線直通列車を含めてすべて「普通」である。構内放送は種別を言わない形式である。

### ② 京阪電気鉄道

#### i. 本線・鴨東線

本線・鴨東線には、「K 特急」・「K 特急 おりひめ号」・「特急」・「急行」・「準急」・「準急 ひこぼし号」・「区間急行」・「普通」の8つ種別がある。

2003年9月8日から私市発、淀屋橋行の「K 特急 おりひめ号」が運行を開始している。この「おりひめ号」はK 特急運転をしており、駅で配布されている時刻表・車内などの路線図にも「K 特急 おりひめ号」と記載されているが、列車の種別表示は特急となっている（あまり問題はないようだ）。

タラッシュ時に天満橋発私市行の「準急 ひこぼし号」がある。この列車は交野線のホーム有効長の関係上、5両編成で運行される。毎年7月7日は七夕伝説にちなみ、臨時K 特急の「おりひめ号」を夕方に走らせ、私市で1年に1度だけ、「おりひめ」と「ひこぼし」を出会わせるイベントが行われる。

#### ii. 宇治線

宇治線は原則として「普通」のみとなっているが、臨時列車などで「特急」などが運行されることもある。

1998年11月～1999年11月に臨時列車として淀屋橋～宇治間に「宇治快速」が運行されていた（日曜・祝日のみ）。この列車は当時の特急並みという急行より上の種別であった。

運行期間は年間4シーズンあり、春休みは「宇治快速さくら Special」、ゴールデンウィークは「宇治快速わかば Special」、6月は「宇治快速あじさい Special」、秋は「宇治快速もみじ Special」となっていた。

しかし、2000年7月1日のダイヤ改正で中書島が特急停車駅となったため、それまでの急行列車利用時と比べて時間が短縮されたということから、現在は「宇治快速」は運行されていない。

#### 宇治快速の当時の停車駅

淀屋橋、北浜、天満橋、京橋、枚方市、中書島、三室戸※、宇治

※三室戸は「宇治快速あじさい Special」のみ停車。

### iii. 交野線

交野線には「普通」・「K 特急 おりひめ号」・「準急 ひこぼし号」がある。いずれも交野線内全列車各駅に停車。

### iv. 京津線

京津線は「普通」のみである。なお、駅の構内放送では種別を言わず、列車の行先表示にも種別は表示されない。かつては急行と準急、石山坂本線直通準急があったが、急行と石山坂本線直通準急が 1980 年に廃止され、1997 年 10 月 12 日の地下鉄東西線開通と同時に準急も廃止された。

### v. 石山坂本線

石山坂本線は「普通」のみである。かつては京津線方面からの直通準急もあったが、1980 年に廃止された。

## III. 車両紹介

### ① 京都市交通局

#### i. 烏丸線

10 系は 1981 年に登場し、120 両が製造された。当初は 4 両編成で運行されていたが、竹田南進開業時から 6 両編成で運行されている。現在、地下鉄線内の最高速度は 75 km/h であるが、近鉄線内の最高速度は 105 km/h である。加速度  $0.92 \text{ m/s}^2$ 、減速度  $0.97 \text{ m/s}^2$  (常用) である。

1・2 次車は前面が「額縁」のイメージを取り入れられており、前面の隅部が出っ張っている。側窓は固定式のため、妻窓が 2 段式で開閉可能となっている。なお、1103 編成は 2010 年 1 月 1 日～同年 12 月 31 日に奈良県で行われる「平城遷都 1300 年祭」の広告列車として 2008 年 7 月 15 日から運転を開始している。

3 次車以降は「額縁」のイメージが廃止され、前面の隅部が丸みをおびている。側窓は開閉可能としたため、妻窓は固定式となった。前面の窓数も増えた。



左: 10 系 (1114 編成)

3 次車～タイプ

京都 2006-8-16

右: 10 系 (1101 編成)

1・2 次車タイプ

京都 2008-8-21



10 系 (1103 編成)

「平城遷都 1300 年祭」の広告をラッピング中!

京都 2008-8-21

#### ii. 東西線

50 系は東西線用車両として 1997 年に登場し、84 両が製造された。最高速度 75 km/h、加速度  $0.92 \text{ m/s}^2$ 、減速度  $0.97 \text{ m/s}^2$  (常用) である。制御装置はVVVFインバータ制御で、6 両編成を基本としている。

## ② 京阪電気鉄道

### i. 本線・鴨東線

本線・鴨東線には、1000系・1900系・2200系・2400系・2600系・(旧)3000系・5000系・6000系・7000系・7200系・8000系(0番台)・9000系などが運用されている。



左:5000系(5552編成) 三条 2008-8-20

右:ラッシュ時用ドア ラッシュ時に使われるもので、通常は使われない。通常用のドアと見分けがつきやすいようにドアの上半分が塗装されていない。

三条 2008-8-20



左:7000系(7004編成)

7004編成の出町柳側3両は元6000系  
の6014編成

三条 2008-8-21

右:7000系(7001編成)

三条 2008-8-22



7200系(7203編成)

「きかんしゃトーマス」の  
ラッピング中!

四条 2008-8-20

7200系は1995年に登場し、23両(8両編成×2本、7両編成×1本)が製造された。最高速度120km/h(営業運転は110km/hまで)、加速度0.78m/s<sup>2</sup>、減速度1.11m/s<sup>2</sup>(常用)、制御装置は7000系と同じVVVFインバータ制御である。普通からK特急まで幅広く使用される。

この車両はラッピング列車として使われることが多く、7203編成は2004年7月～2006年7月まで「e-kenet PiTaPa Train」として、2006年7月29日～2007年1月21日までは「きかんしゃトーマスとなかまたち」、2008年7月19日からは「きかんしゃトーマス」のラッピングがされている。なお、「きかんしゃトーマス」のラッピングは2006年～2007年までのものと、2008年からのものとは異なっている。



8005編成 三条 2008-8-22

8000系は1989年に登場し、80両(8両編成×10本)が製造された。最高速度120km/h(営業運転は110km/hまで)、加速度0.69m/s<sup>2</sup>、減速度1.11m/s<sup>2</sup>(常用)である。この車両は(旧)3000系と同様、特急用車両に分類され、K特急・特急の運用に就くが、一部の急行の運用にも就く。

この8000系には出町柳寄りから5両目には京阪特急の伝統である「テレビカー」が連結されていて、テレビ設置箇所の隣には公衆電話がある。

座席は転換式クロスシートである。



9005 編成 四条 2008-8-20

9000 系は 1997 年に登場し、40 両 (8 両編成×5 本) が製造された。最高速度 120 k m/h (営業運転は 110 k m/h まで)、加速度 0.78 m/s<sup>2</sup>、減速度 1.11 m/s<sup>2</sup> (常用)、制御装置はVVVF インバータ制御である。

車内は車端部がロングシートでそれ以外は一部を除きクロスシートのセミクロスシートであるが、9005 編成はロングシート化されており、今後、その他の編成もロングシート化される予定である。

2004 年ごろには 9004 編成で、新撰組のラッピングがされていた。

10000 系は 2002 年に登場し、現在 24 両 (4 両編成×6 本) が製造されている。最高速度 120 k m/h (営業運転は 110 k m/h)、加速度 0.78 m/s<sup>2</sup>、減速度 1.11 m/s<sup>2</sup> (常用) である。この形式は従来的一般車両に比べ、車体がターコイズグリーン 1 色で塗られている。また、ワンマン運転対応機器が設置されているが、これは宇治線や交野線でワンマン運転の実施を計画しているためである。

## IV. 車両運用

### ① 京都市交通局

#### i. 烏丸線

烏丸線は先述のように近鉄京都線と直通運転を行っており、近鉄の乗り入れ車が乗り入れてくる。

10 系は、近鉄京都線に乗り入れ、主に普通・急行についている。

#### ii. 東西線

東西線は先述のように京阪京津線と直通運転を行っており、京阪京津線の車両が乗り入れてくる。但し、50 系は京阪京津線に乗り入れてはいない。

### ② 京阪電気鉄道

#### i. 京阪本線・鴨東線・交野線

鴨東線・交野線は京阪本線と直通運転をしており、10000 系を除く全車両が導入されている (臨時で 10000 系も本線で運用される場合もある)。

#### ii. 宇治線・鴨東線・交野線

宇治線は臨時列車を除き、本線との直通運転を行っておらず、主に 10000 系・2600 系などが導入されている。京津線は京都市交通局との直通運転を行っており、原則として地下鉄に乗り入れ可能な 800 系のみが導入されている。

石山坂本線は、本線との直通運転を行っておらず、主に 600 形・700 形などが導入されている。



## V. 京阪電気鉄道をめぐる話題

### ① 発車メロディー導入

2007年6月17日に京阪では、新型列車運行管理システムを本格的に移動させた。そのため、同日から以下の駅で列車の出発時に発車メロディーを流している。各駅のメロディーは違うものの、コンセプトごとにつなげて聞くと、1つの曲になるという工夫も凝らされている。

なお、これらの曲の作曲者は「向谷 実」である。

導入駅一覧	
京阪本線	淀屋橋、天満橋、京橋、守口市、萱島、香里園、枚方市、樟葉、八幡市、淀中書島、丹波橋、深草、三条、出町柳
京阪交野線	私市
京阪宇治線	宇治

※中之島線開業後は中之島駅も導入駅の対象となる予定。

### ② 塗色変更・車両改番

京阪グループでは、グループ経営ビジョン「“選ばれる京阪” への挑戦」実現に向け、新たな「京阪ブランド」を確立するため、イメージ改革を進めている。今回、その一環として京阪では、中之島線直通の優等列車用に新型車両を投入するのに合わせて、既存車両を含めて、京阪線（京阪本線・鴨東線・宇治線・交野線・中之島線）の全車両の塗色を一新することとなった。

京阪の塗色は特急用車両が1951年に上半分が黄色（マンダリン・オレンジ）、下半分が赤（カーマイン・レッド）に、一般車両が1957年に上半分が若草色（ライト・グリーン）、下半分が青緑（ダーク・グリーン）に定まってからはあまり大きな変化はなかった。今回の塗色変更については、車両の種類により塗色の仕方が違うのが特色である。現在、特急型車両は8000系の8008編成1本、通勤型車両は6000系の6008編成、7000系の7201編成、2200系の2270・2271・2275編成が塗色変更されている。

#### i. 特急用車両（旧3000系・8000系）



2ドア・クロスシートの特急用車両である3000系（現8000系8531編成）・8000系の88両は上部が赤（塗色変更車の赤はエレガント・レッド）に、帯線が車両真ん中付近に引かれ、線は金色（エレガント・ゴールド）、下部は黄色（塗色変更車の黄色はエレガント・イエロー）。  
塗色変更された8000系（8008編成） 四条2008-8-20

#### ii. 一般車両（1000系・1900系・2200系・2400系・2600系・5000系・6000系・7000系・7200系・9000系・10000系）

※ 1900系は本文締め切り後に正式な情報が発表された内容によると、塗色変更が実施されずに引退をしたとのことでした。申し訳ございません。



3 ドア・ロングシート的一般車両は上部が濃緑色（レスト・グリーン）、帯線が車両真ん中付近に引かれ、線は黄緑色（フレッシュ・グリーン）、下部が白（アーバン・ホワイト）。

塗色変更された 7000 系（7201 編成） 四条 2008-8-20



左: 塗色変更された 2200 系（2270 編成）  
三条 2008-8-21



右: 塗色変更された 6000 系（6008 編成）  
出町柳 2008-8-21

### iii. 新 3000 系の塗色

3 ドア・ボックスシートのある新 3000 系 48 両は上部が紺色（エレガント・ブルー）、帯線が車両真ん中付近に引かれ、線は銀色（スマート・シルバー）、下部が白（アーバン・ホワイト）。

また、先述のように中之島線開業で中之島線直通の優等列車用に新型車両である(新)3000 系を投入することとなったため、(旧) 3000 系の 3505 編成が 6 月 27 日に 8000 系（8531 編成）に改番された。

このため、2008 年 6 月 15 日～24 日まで（19・23 日を除く）、「3505-3055 編成ファイナル！号」が運転された（ヘッドマーク掲出）。なお、この車両は 2008 年 8 月現在では塗色変更は行われておらず、元の塗色のままで営業運転をしている。



3000 系（8000 系編入後） 三条 2008-8-21

## ③ 2008 年 10 月 19 日の中之島線開業とダイヤ改正

中之島線とは、2008 年 10 月 19 日に開業する京阪の新路線である。天満橋～中之島間の約 3.0 km を、所要時間約 7 分で結ぶ路線で、4 つの駅が開業する予定である。それに伴い、2008 年 10 月 19 日にダイヤ改正が行われる。これにより、中之島西部地区再開発に伴い発生する交通需要に対応することが可能になるという。

## ④ 駅名改称

京阪では、中之島線開業日に以下の駅を駅名変更する予定である。これは京都観光 5000 万人キャンペーンの趣旨に賛同し、京都を訪れる観光客がよりスムーズに目的地に向かえるようにするため、また京都市交通局烏丸

線にも以下の駅と同様の駅名が存在するため、誤乗防止のためとしている。

現在 (右は読み方)		→	2008年10月19日～ (右は読み方)	
五条	ごじょう		清水五条	きよみずごじょう
四条	しじょう		祇園四条	ぎおんしじょう
丸太町	まるたまち		神宮丸太町	じんぐうまるたまち

### ⑤ 種別変更

京阪では、2008年10月19日のダイヤ改正で現在の8種別から12種別に変更することを発表した。変更については以下のとおりである。

現在	→	2008年10月19日～
K特急 K特急 おりひめ号 特急 急行 準急 準急 ひこぼし号 区間急行 普通		快速特急 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">New</span> 特急 通勤快急 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">New</span> 通勤快急 おりひめ号 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">種別変更</span> 快速急行 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">New</span> 快速急行 ひこぼし号 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">種別変更</span> 急行 深夜急行 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">New</span> 準急 通勤準急 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">New</span> 区間急行 普通
8種別	合計	12種別

## VI. 最後に

今回、京都市交通局と京阪について書こうと思ったのは、京都市交通局東西線が延伸されたこと、また京阪では今年から塗色変更が開始されたこと、10月19日に中之島線が開業するからです。

私の大好きな京都を走る鉄道が、今後も発展していくことを期待しながら、このレポートを終わりにしたいと思います。最後までお読みいただきありがとうございました。

### 参考文献

「HANDBOOK KEIHAN 2007」

京都市交通局ホームページ (<http://www.city.kyoto.lg.jp/kotsu>)

京阪電気鉄道株式会社ホームページ (<http://www.keihan.co.jp/>)

ウィキペディア フリー百科辞典 (<http://ja.wikipedia.org/wiki/>)